

2025年6月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第246号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2025年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

◎第1回セミナー

【開催日時】2025年6月24日（火）14:20～15:40

【開催場所】「ウインクあいち 1101会議室」

【開催方法】会場およびZoom Webinarによるオンライン開催の併用型

【演題・講師】「サステナブルな次世代農業を起点とする超順循環社会の実現に向けて」

株式会社 TOWING（トーイング） 代表取締役 CEO 西田 宏平 氏

＝株式会社 TOWING（トーイング）の紹介＝

名古屋大学発のスタートアップとして発足した TOWING は通常畑で3～5年かかる土づくりをわずか約1か月で可能にする。植物の炭等のバイオ炭（多孔体）に微生物を付加し、有機質肥料を混ぜ合わせて管理した人口土壌の技術「高機能ソイル技術」を活用した高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」を開発・販売しています。

TOWING の独自のバイオ炭の前処理技術、微生物培養等に係る技術を、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が開発した技術と融合し、実用化しました。

この技術を応用し、宇宙農業実現に向けた活動・研究も活発化しています。

【情報交流会】16:00～17:30

詳細は、下記の当研究会のホームページにてご確認ください。

<https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆愛知県では、STATION Ai プロジェクトの一環として、愛知県農業総合試験場とスタートアップ等が連携して新しい農業イノベーションの創出を目指す「あいち農業イノベーションプロジェクト」を2021年度から実施しています。

プロジェクトでは現在、2022年度に選定した18課題について、2023年度から3年間の共同研究開発を進めていますが、農業分野における更なるイノベーション創出に向け、この度、2026年度から3年間の共同研究開発に取り組む「プロジェクト2026」を新たに立ち上げます。

つきましては、下記のとおり、農総試と共同で農業イノベーション創出を目指すスタートアップ等から広く技術提案を募集しますので、関連する企業様におかれましては、是非御応募ください。

【知事記者発表 URL】 <https://www.pref.aichi.jp/press-release/innovation2025.html>

【特設 web ページ】 <https://aichi-agri.jp>

○募集期間

募集開始：2025 年 5 月 20 日（火曜日）

募集締切：2025 年 7 月 14 日（月曜日）

○応募方法

特設 web ページ内の「応募用入力フォーム」にてご応募ください。

3. 他団体からのセミナー・シンポ・会議・公募等

☆「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」の公募開始のお知らせ

生研支援センターでは、6 月 5 日（木曜日）から「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」の公募を開始しました。

本事業は、スマート農業技術の開発及び供給を迅速かつ強力に推進するため、様々な関係者が実施するスマート農業技術に係る研究開発の取組を支援します。

■公募期間：2025 年 6 月 5 日（木曜日）～6 月 30 日（月曜日）正午まで

■公募説明動画：2025 年 6 月中旬までに生研支援センターの HP にて掲載予定

▼公募要領等の詳細は、下記 URL をご参照ください。（生研支援センターウェブサイト）

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2025.html>

.....

4. 農林水産・食品分野の公募情報

【研究開発関連】

■省庁等

・JST：「2025（令和 7）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」

・JST：「2025 年度 戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）EIG CONCERT-Japan 第 12 回共同研究課題募集」

■民間等

・公益財団法人東洋食品研究所：「2026 年度食品研究助成金」

・公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団：「2025 年度岸本基金研究助成」

上記、各事業及びプログラムの詳細な情報については東海生研 HP をご覧ください。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

技術情報

☆野菜関係

日本のキュウリのゲノム配列を初めて高精度で解読-DNA マーカーによる品種育成を加速化-
農研機構は、日本のキュウリ品種「ときわ」のゲノムを高精度で解読しました。キュウ

りのゲノムの解読は難しいとされてきましたが、ロングリードシーケンス技術を用いて高精度の解読に成功しました。

「ときわ」は我が国のキュウリ品種育成の素材として広く利用されてきましたが、本成果により DNA マーカーの開発が進み、キュウリの耐病性品種や耐暑性品種など、ゲノム情報に基づいた品種育成の迅速化への貢献が期待されます。

▽詳細はこちら▽

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/ngrc/168702.html

☆野菜関係

施設栽培トマトの糖度を予測・制御可能に-「NARO 生育・収量予測ツール(1)果菜類」にトマト糖度制御機能を追加し、高糖度トマト生産をサポート-

農研機構は、環境や生育データから施設果菜の生育等をシミュレーションする「NARO 生育・収量予測ツール(1)果菜類」に、トマト果実の糖度を予測・制御する機能を新たに追加しました。トマトの糖度を制御することは容易ではなく、高糖度トマトの生産には収量減少のリスクを伴うため、高い技術と経験が必要でした。本機能により、目標品質に合わせたトマトの糖度と収量の制御が、同時かつ容易に可能となります。本機能は、2025 年 3 月 31 日に提供を開始しました。農業データ連携基盤「WAGRI」を介して提供する「NARO 生育・収量予測ツール(1)果菜類」を契約された方が、この機能を追加料金なしで利用できます。

情報公開日:2025 年 5 月 14 日(水曜日)

.....

編集後記

6 月に入り花々が新緑を背景にして鮮やかに映えています。各地で真夏日がしばらく続きましたが、いよいよ梅雨入りです。

さて、東海生研の第 1 回セミナーの開催が今月 24 日(火)に迫ってきました。今回の演題は「サステナブルな次世代農業を起点とする超順循環社会の実現に向けて」についてご講演をいただきます。また、交流会も 16 時より行いますので、どうぞふるってご参加ください。(会場参加の他、オンライン参加も可能です)。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録(無料)のご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>